



2014年3月期 第2四半期決算説明会

2013年11月11日

代表取締役会長兼社長
實吉 繁幸

	ページ
2014年3月期第2四半期決算	…… 2-15
当社の経営戦略	…… 16-23



2014年3月期 第2四半期決算

● 経営環境(中期的なトレンド)

- 経営の効率化・リスクマネジメント強化、医療のIT化
- 医療費抑制策は継続、予防医療・医療過誤抑制及び業務効率化への動き拡大 ⇒ 新市場 ⇒ この市場へ積極的に新製品(ROBO・検体検査装置・ヘルスケア)を投入
 <BC・ROBO**RFID**、UA・ROBO、u-TRIPS>
- ROBOの国内市場開拓率:大病院 71%、中病院 14%
- 輸出:新市場の開拓と既存市場の拡充(特に成長期入り市場)

● 上期の経営環境

- ROBOの更新需要捕捉・・・新製品(ROBO-8000**RFID**)が貢献
- 各国で経済情勢不安定・・・案件を選別。欧州ではROBO増加

● 主な取組み

➤ ROBO

大病院 ⇒ 更新需要の捕捉
中病院 ⇒ 新規開拓の加速
健診センター ⇒ 販路拡大

⇒ { 粗利率を維持しつつ
新たな市場を開拓

➤ 検体検査装置

検査室、緊急検査、手術室、産科及び動物病院、小病院
へも販路拡大

➤ 輸出

各国の経済情勢不安定継続。引き続きキメ細かく案件捕捉

➤ 新製品

- ・ 検体情報統括管理システムを搭載したROBO-8000RFID
- ・ RFID尿検体管理システム(u-TRIPS)の上市
- ・ 静脈可視化装置: ROBOと併売、麻酔科・小児科等へ販売
- ・ 酸化ストレスマーカー: 小児科, NICU, 健診, クリニック, 研究室等

● 決算サマリー

	2012年 4-9月期		2013年 4-9月期		
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	前年同期比 (%)
売上高	3,678	100.0	3,965	100.0	+ 7.8
(期初見通し)	3,675	100.0	3,900	100.0	
営業利益	789	21.5	947	23.8	+ 20.0
(期初見通し)	651	17.7	810	20.8	
経常利益	790	21.5	948	23.9	+ 20.0
(期初見通し)	652	17.7	812	20.8	
純利益	506	13.8	602	15.2	+ 19.0
(期初見通し)	391	10.6	519	13.3	
1株当り純利益(円)	17,358	-----	20,649	-----	+ 19.0
1株当り純資産(円)	319,226	-----	356,011	-----	+ 11.5

採血管準備装置で粗利率改善。(2%)

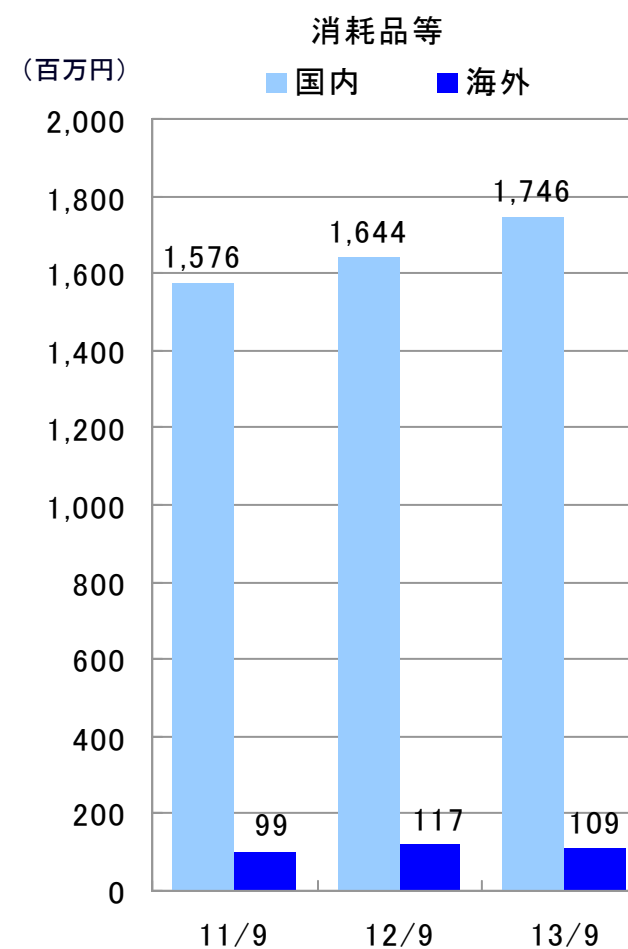
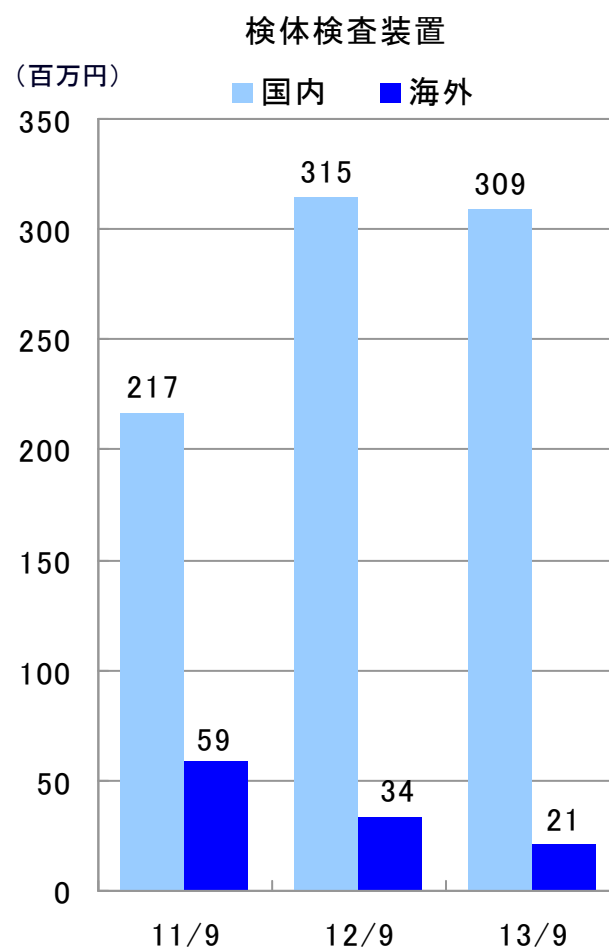
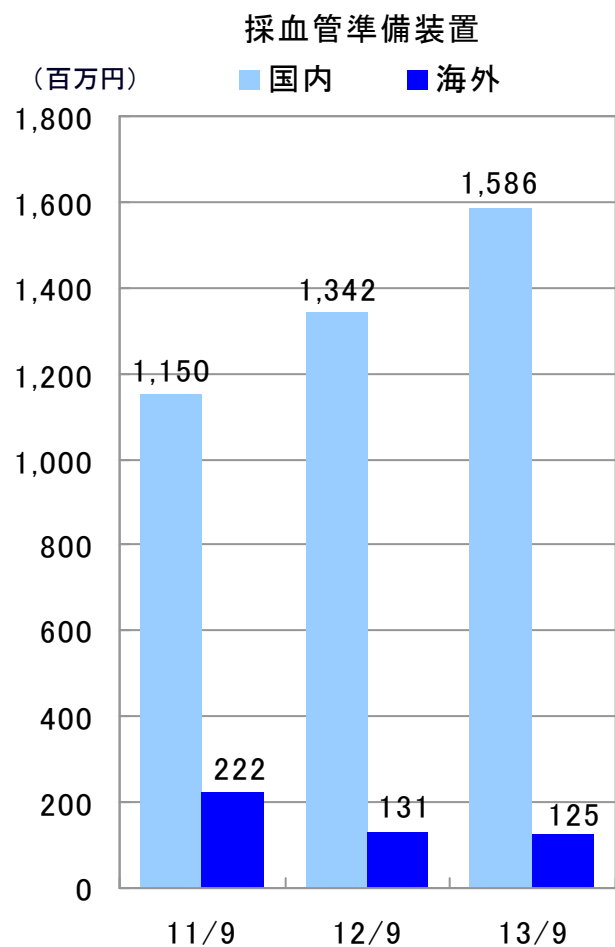
● 品目別売上高

(単位:百万円)

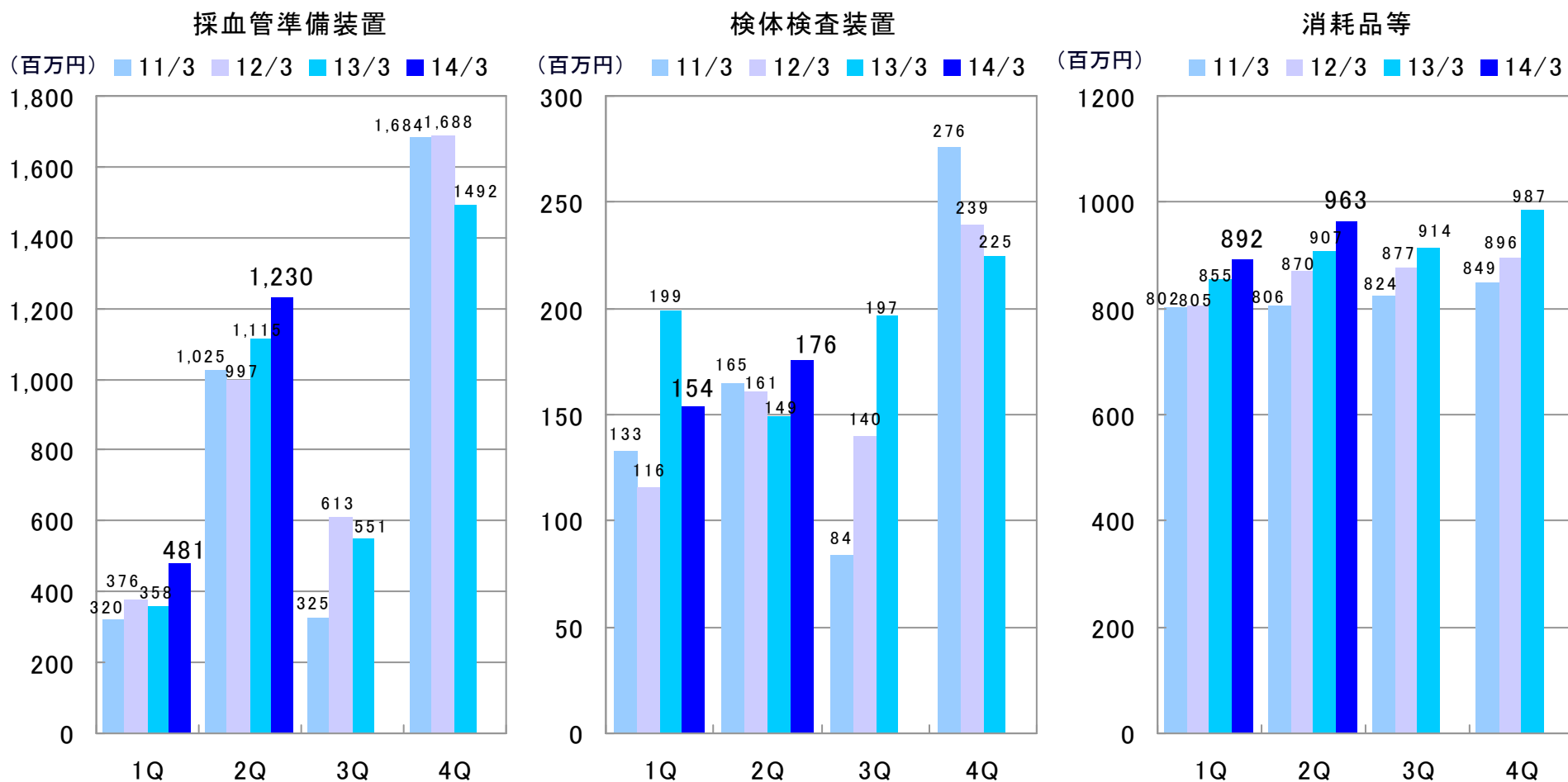
	2011	2012年	2013年	2012年	2013年	
	3月期	3月期	3月期	4-9月期	4-9月期	前年同期比(%)
採血管準備装置	3,357	3,675	3,516	1,473	1,711	+ 16.2
構成比(%)	44.4	46.1	43.1	40.1	43.2	-----
検体検査装置	660	657	770	349	330	△ 5.4
構成比(%)	8.7	8.2	9.4	9.5	8.3	-----
消耗品等	3,282	3,450	3,663	1,762	1,855	+ 5.3
構成比(%)	43.4	43.2	44.9	47.9	46.8	-----
その他	258	197	201	92	69	△ 25.0
構成比(%)	3.4	2.5	2.5	2.5	1.7	-----
合計	7,559	7,980	8,151	3,678	3,965	+ 7.8

採血管準備装置で大病院を中心に更新捕捉。販売単価上昇、売上増加

● 品目別売上高(国内・海外別)



● 品目別売上高(四半期別)



● 採血管準備装置－ROBO納入施設数

	2011/4-9月	2012/4-9月	2013/4-9月
納入施設数	107	116	115
国内	74	96	95
内、新規	20	30	29
内、更新	54	66	66
輸出	33	20	20



・国内の納入推移(含む更新)

	11/9	12/9	13/9
大病院	74%	74%	77%
中病院	23%	24%	21%
その他	3%	2%	2%

	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期
納入施設数	245	272	261
国内	174	204	208
内、新規	66	67	67
内、更新	108	137	141
輸出	71	68	53

・平均納入単価(国内+輸出)

‘13/9:14.8百万(前期:12.7)

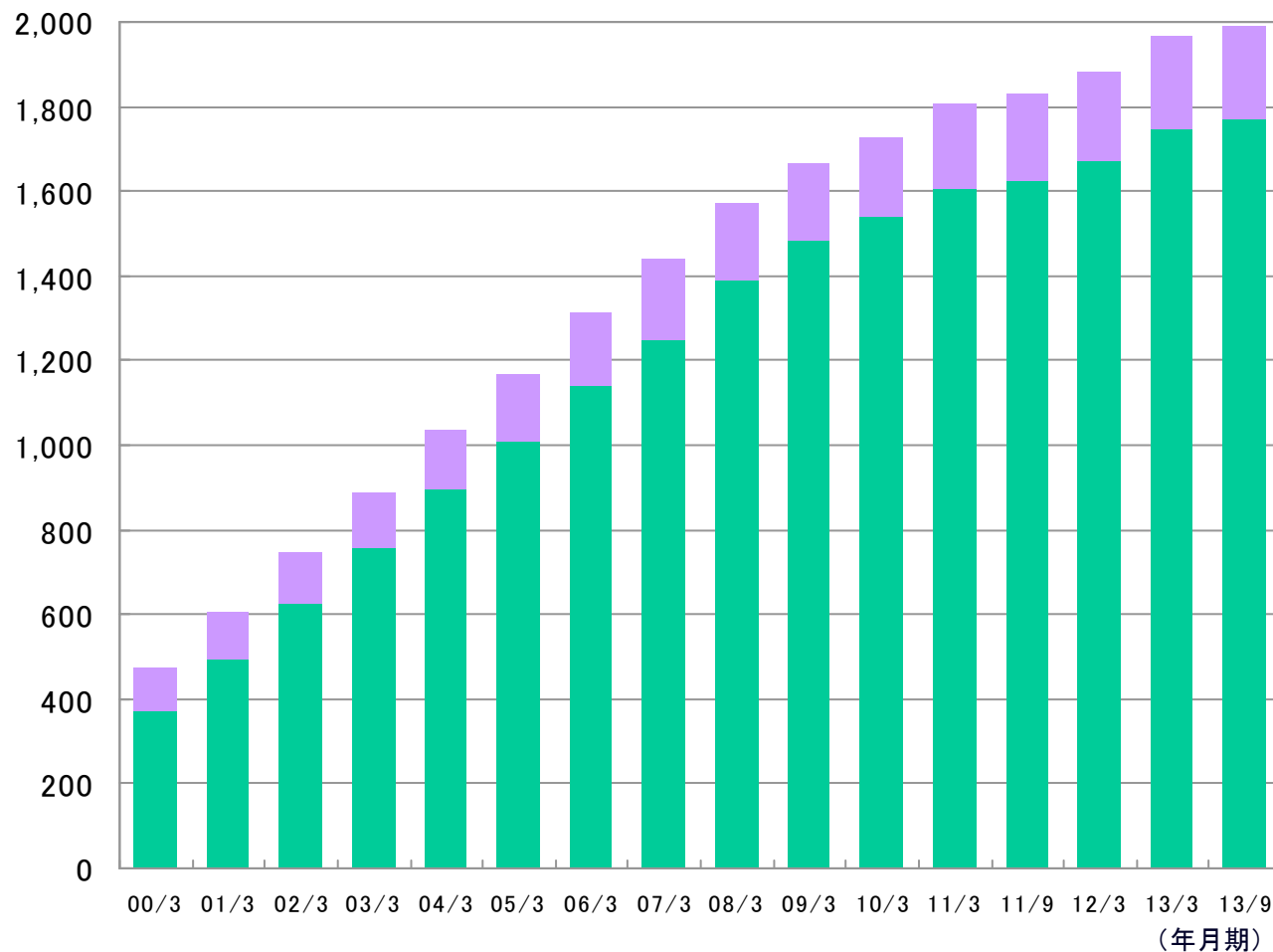
・国内:更新で高付加価値化。

粗利率 2%改善(前期比)

・輸出:計画比、低調。欧州で増加だがアジア、中南米で減少

● 採血管準備装置－納入施設の推移

(累計施設数)



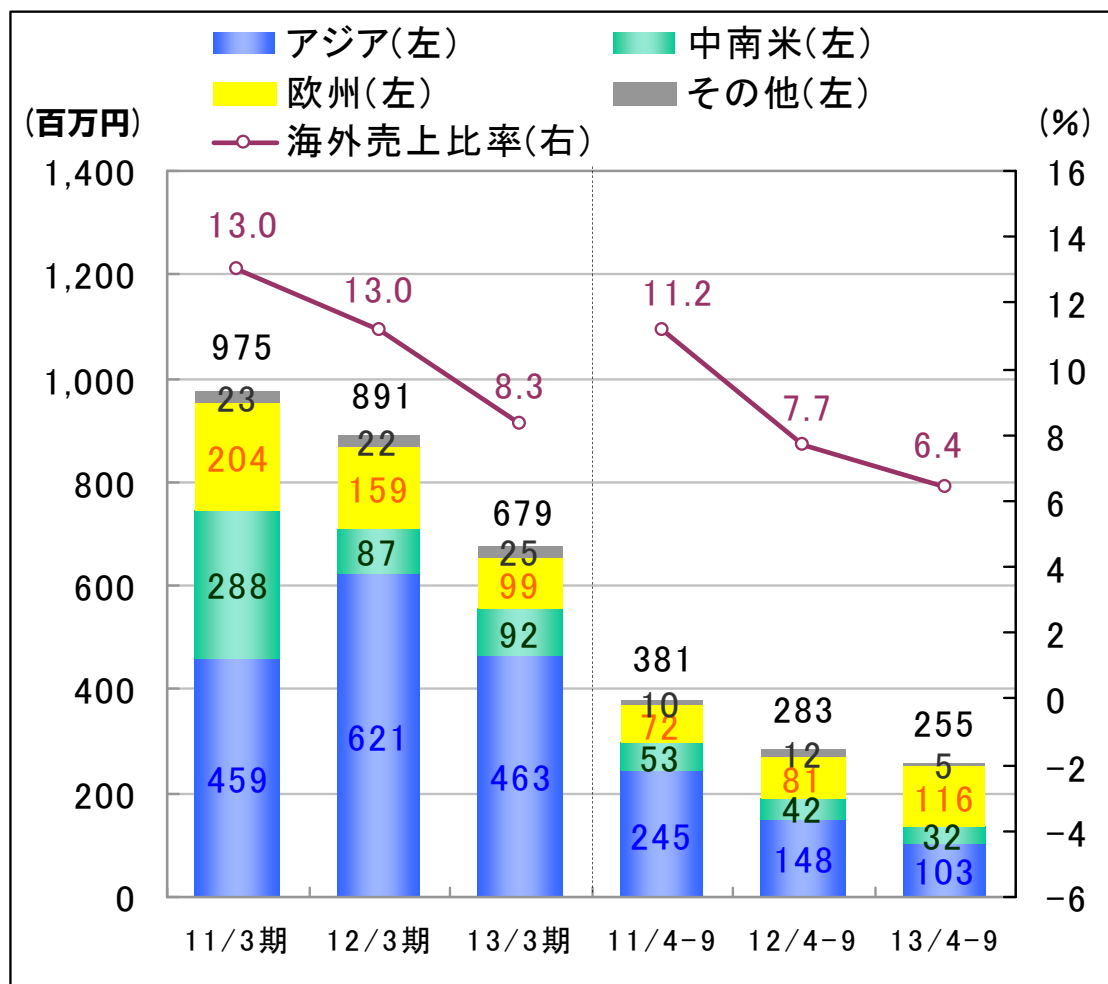
他社納入数
(224施設)

当社納入数
(1768施設)

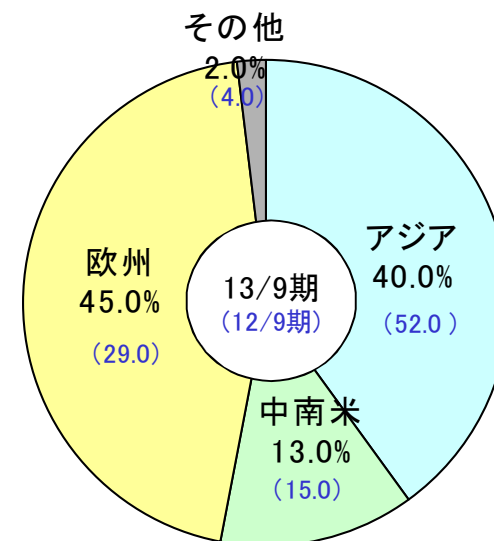
シェアー 88.8%

(出所: 当社データ)

海外売上高



地域別の売上構成比



2013/4-9月期:
ROBO/欧州で上伸、中南米
アジアでは減少

消耗品は1Qで前期比減少、
2Qで増加へ

● 要約損益計算書

	2012年4-9月期		2013年4-9月期			2013年3月期	
	金額	百分比	金額	百分比	前期比	金額	百分比
売上高	3,678	100.0	3,965	100.0	+ 7.8	8,151	100.0
売上原価	1,768	48.1	1,854	46.8	+ 4.9	3,953	48.5
売上総利益	1,909	51.9	2,111	53.2	+ 10.6	4,197	51.5
販売管理費	1,119	30.4	1,163	29.3	+ 3.9	2,257	27.7
（内 研究開発費）	240	7.6	223	5.6	△ 7.1	478	5.9
営業利益	789	21.5	947	23.9	+ 20.0	1,940	23.8
営業外損益	0	0.0	1	0.0	-	4	0.1
経常利益	790	21.5	948	23.9	+ 20.0	1,944	23.9
特別損益	-	0.0	-	-	-	-	0.0
法人税、調整額等	284	7.7	345	8.7	+ 21.5	701	8.6
当期純利益	506	13.8	602	15.2	+ 19.0	1,243	15.3

● 要約貸借対照表【資産の部】

	2013年3月末		2013年9月末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
流動資産	11,207	87.5	10,842	87.3	△ 365
現預金	5,516		5,533		+ 17
売上債権	4,005		3,350		△ 655
棚卸資産	1,623		1,872		+ 249
その他流動資産	62		87		+ 25
固定資産	1,601	12.5	1,575	12.7	△ 26
有形固定	1,319		1,297		△ 22
無形固定	5		5		+ 0
投資等	276		273		△ 3
資産合計	12,809	100.0	12,417	100.0	△ 392

● 要約貸借対照表【負債・純資産の部】

	2013年3月末		2013年9月末		
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)
流動負債	2,434	19.0	1,730	13.9	△ 704
買入債務	1,609		1,052		△ 557
短期有利子負債	—		—		—
その他流動負債	825		678		△ 147
固定負債	315	2.5	291	2.3	△ 24
長期借入金	—		—		—
その他固定負債	315		291		△ 24
負債合計	2,750	21.5	2,021	16.3	△ 729
純資産合計	10,058	78.5	10,395	83.7	+ 337
負債・純資産合計	12,809	100.0	12,417	100.0	△ 392

● 要約キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2012/4-9月	2013/4-9月	
	金額	金額	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	321	299	△ 22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 50	△ 87	△ 37
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 356	△ 265	+ 91
現金・現金同等物の増加額	△ 85	△ 53	+ 32
現金・現金同等物の期首残高	3,186	3,919	+ 733
現金・現金同等物の期末残高	3,101	3,866	+ 765
研究開発費	240	223	△ 17
設備投資実施額	0	9	+ 9
減価償却実施額	18	23	+ 5



当社の経営戦略

● 2014年3月期業績見通し

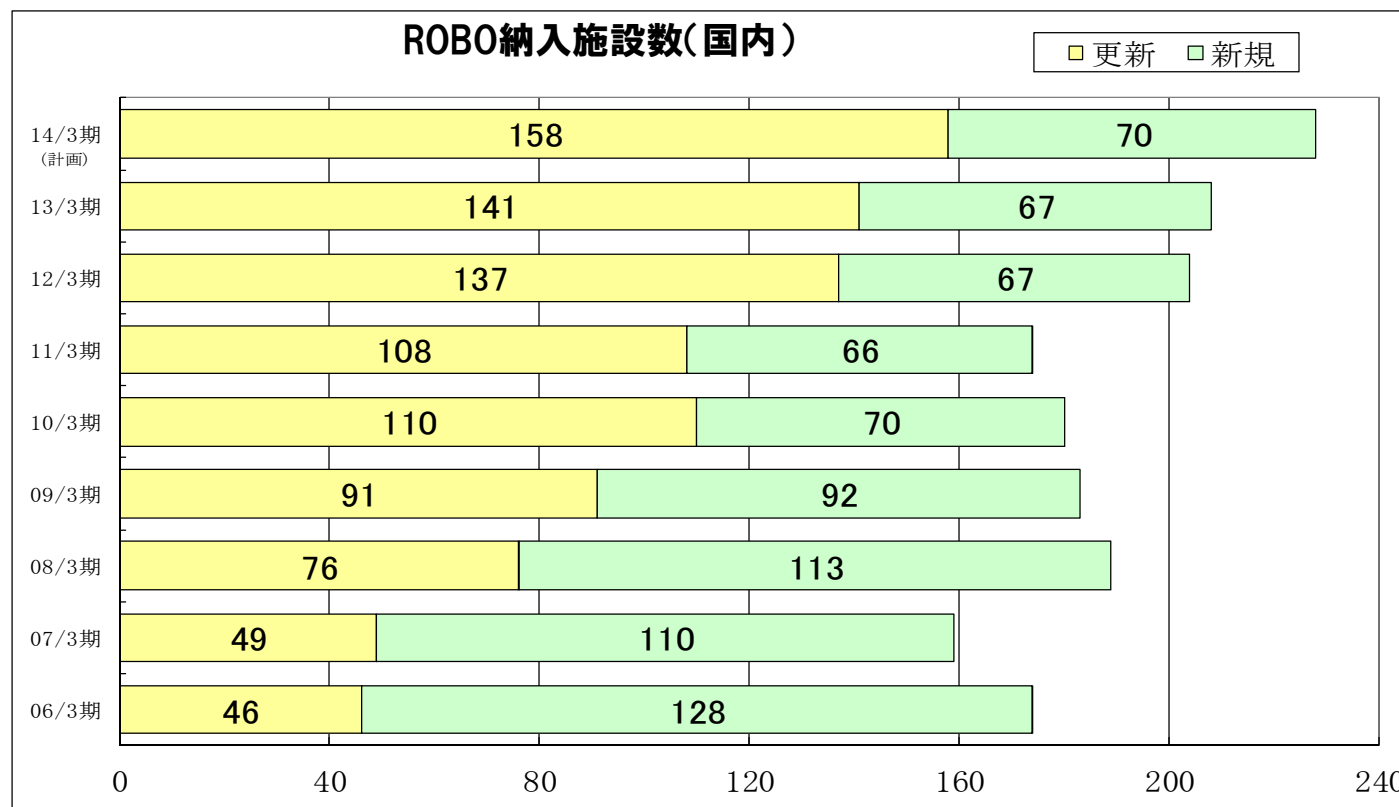
	2013年3月期		2014年3月期（予）		
	金額（百万円）	百分比（%）	金額（百万円）	百分比（%）	前期比（%）
売上高	8,151	100.0	9,400	100.0	+ 15.3
営業利益	1,940	23.8	2,000	21.3	+ 3.0
経常利益	1,944	23.9	2,005	21.3	+ 3.1
当期純利益	1,243	15.3	1,282	13.6	+ 3.1

研究開発費	478	5.9	482	5.1	+ 0.8
設備投資額	87	1.1	155	1.6	+ 78.2
減価償却費	41	0.5	59	0.6	+ 43.9

● 下期の課題①

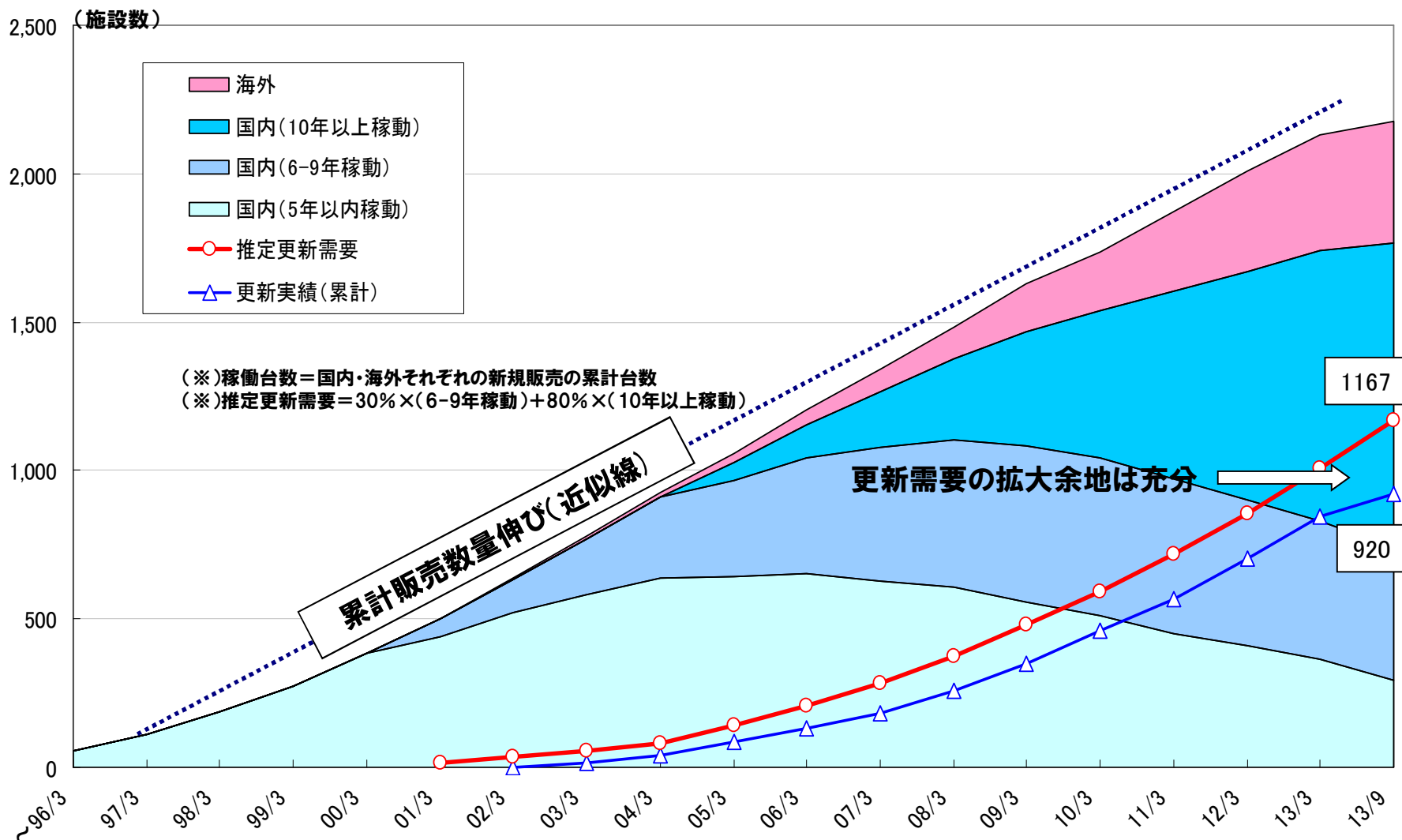
➤ ROBO

- ◆ 引続き更新需要(大病院向け)の着実な捕捉
- ◆ 高機能新製品・ニューコンセプト新製品の上市



当社の経営戦略-3

ROBO: 稼働台数及び更新需要の推移



● 下期の課題②

▶ 新市場を作る新製品販売強化

- ◆ BC・ROBO-8000 **RFID**
- ◆ UA・ROBO-2000
UA・ROBO-R250A
- ◆ u-TRIPS (**RFID**尿検体管理システム)
- ◆ 新型静脈可視化装置「Stat**Vein**」
小児科・麻酔科等の新規販路開拓
- ◆ 酸化ストレスマーカー
新規販路開拓(大学の研究室等)
- ◆ ヘルスケア新製品
アミノサイン[®]・・・必須アミノ酸リジン測定
現代型低栄養の発見



全自動尿分析・分取装置
「UA・ROBO 2000」



非接触型静脈可視化装置
「Stat**Vein**」



● 下期の課題②ー続き

➤ 検体検査装置

- ◆ 後継新製品 血液ガス分析装置「G-1800シリーズ」 の販売強化
- ◆ 新型電解質測定装置(STAX-5 inspire)の販売開始
- ◆ 電解質Na、K専用測定装置の量産製造継続(製造受託)

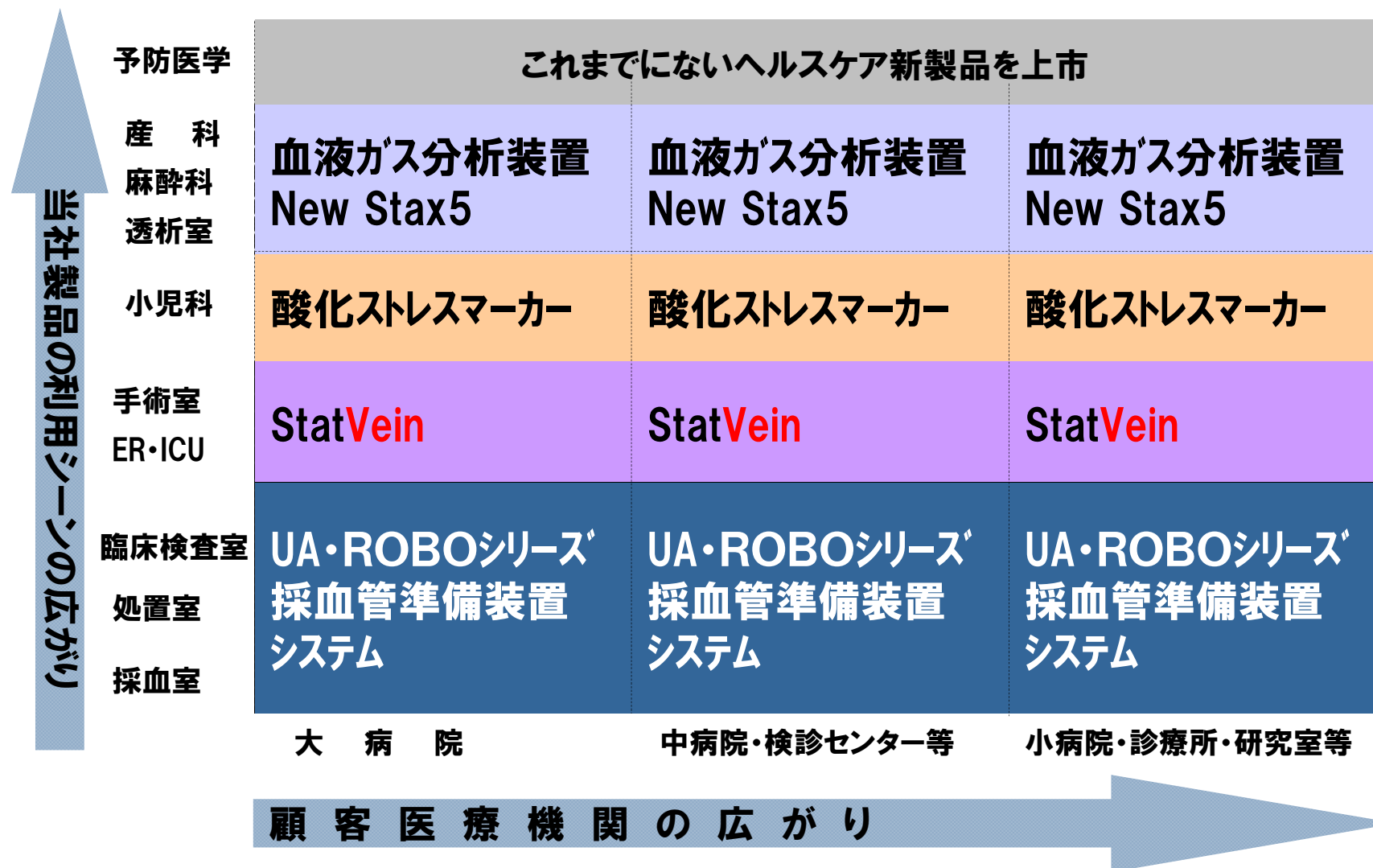


血液ガス分析装置
「G-1800シリーズ」

➤ 輸出

- ◆ 新市場の開拓、既存市場での販売体制の強化
 - ・ 新興国＋先進国で新市場の開拓
 - ・ ユーロ危機等あり資金回収の確実性確保

新製品を武器として新市場・新規顧客を開拓



中期事業計画(2014/3期~2016/3期)

最重要テーマ

➤ スケールアップ

● 売上高伸び率目標 前年比+15.0%

➤ 高収益率

● 売上高経常利益率 每期20%を確保

課題と施策

- ① 継続的な市場創出型新製品の上市←R&Dの選択と集中
- ② ヘルスケア事業の飛躍的拡大
- ③ 国内ROBO更新需要の確実な捕捉
- ④ 輸出売上の拡大

<注意事項>

当資料に記載された内容は、現時点において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的に判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。投資に際しての最終的なご判断は、ご自身がなされるよう、お願い致します。